

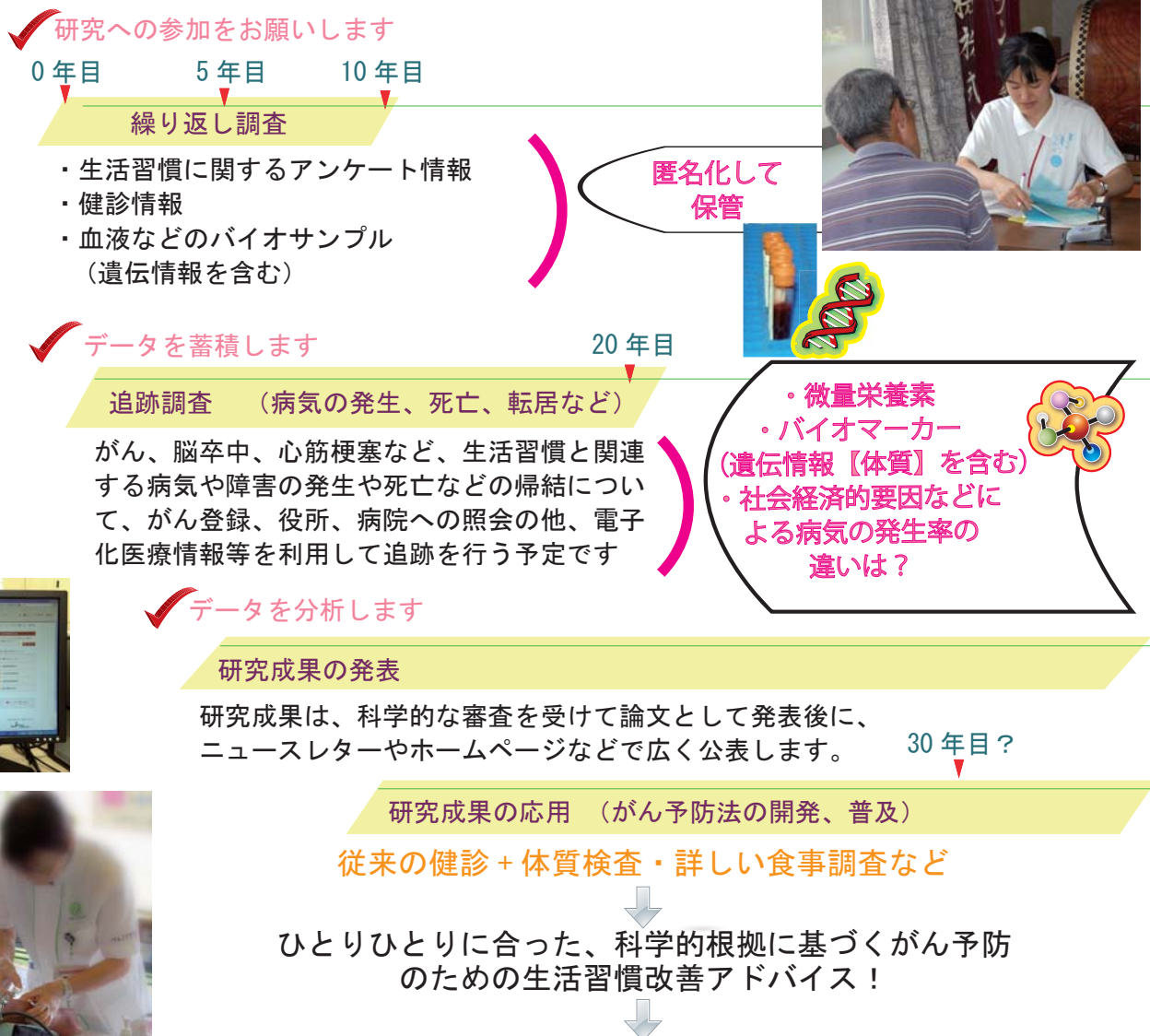
◆これまでの研究のデータを統合するために、国立がん研究センターがん研究開発費による次世代多目的コホート研究（JPHC-NEXT）と文部科学省科学研究費新学術領域研究による日本多施設共同コホート研究（J-MICC）で用いられた調査票や生体試料などの情報を統合するための妥当性を検討する研究を行っています。



◆約 20 年の追跡期間をもつ多目的コホート研究で 2011 年 12 月から新たに開始された JPHC-OMICS 研究の保存試料を用いて、ゲノムコホートにおけるよりよい研究方法を探るための予備的検討を行っています。

◆これから研究を新しく開始するとき、企画のモデルとなる標準的なプロトコルを作成します。「次世代多目的コホート研究プロトコルの高知県安芸市での実施」の中で、よりよい研究方法について検討しています。

※2012 年度より、高知県安芸市、茨城県筑西市などにおいて、これからのゲノムコホート研究のモデル作りにつながるコホート研究が行われています。



日本人のがん及び生活習慣病のコントロール